

ピラフルフェンエチル水和剤 エコパートフロアブル	取扱メーカー： 日農 原体メーカー： 日農
成分： ピラフルフェンエチル〔フェニルピラゾール系〕…2.0%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

- 茎葉処理型除草剤であり、麦畑の広葉雑草を強
力に防除できる。
- 非ホルモン接触型の除草剤で植物の茎葉から吸
収され、広葉植物＞イネ科植物の明瞭な選択性が
ある。
- 畑地一年生広葉雑草に対し、2～4 葉期処理で
卓効を示す。効果の発現が速く、低温条件でも速
効性を発揮する。特に麦畑の難防除雑草やエムグ
ラに高い防除効果を発揮する。
- 有効成分投下量は10 a 当たり1～2 g と極めて
少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一
覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 容器をよく振ってから散布する。
- 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないように
均一に散布する。
- 広葉雑草にのみ有効であるので、イネ科雑草に
有効な土壌処理剤などの体系で使用する。
- 雑草2～4 葉期に有効であるが、雑草の生育が
進むと効果が低下するので、使用時期を失しない
ように散布する。
- 北海道の春処理では越年した雑草に効果が劣る
ので、有効な剤と組み合わせて使用する。

【薬効・薬害等の注意】

- 展着剤は薬害を助長するおそれがあるので加用
しない。
- 極端な低温時（5℃以下）には効果が劣るおそ
れがあるので高めの薬量で使用する。
- 有機リン剤及び効果、薬害に問題のないことが
確認されていない薬剤との同時施用又は7 日以内
の近接散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけ
る。
- 散布後、作物に軽微な白色斑点などが発生す
ることがあるが、その後の生育及び収量には影響な
い。
- 散布直後に降雨が予想される時は使用をさけ
る。
- 麦ふみ後数日間は使用をさける（薬害助長）。
- 薬害のおそれがあるので重複散布をさける。
- 適用外作物（農作物、有用植物）への薬害など
の注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】

- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器等は適切に
処理する。

【適用と使用法】

作物名	適用 雑草名	使用時期	10a当り使用量		使用 方法	適用 地帯	本剤の 使用回数	ピラフルフェンエチル を含む農薬の使用回数
			薬量	希釈水量				
小麦 (春播)	一年生 広葉雑草	小麦2～4葉期 (広葉雑草2～4葉期) 但し、収穫45日前まで	50～ 100㎖	100ℓ	雑草 茎葉 散布 又は 全面 散布	北海道	2回 以内	2回以内
小麦 (秋播)		小麦止葉抽出前まで (春期広葉雑草2～4葉期) 但し、収穫45日前まで	50～ 75㎖			全域 (北海道 を除く)		
		小麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期、 ヤエムグラ2～6節期) 但し、収穫45日前まで	50～ 100㎖					
		大麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期) 但し、収穫45日前まで						
大麦		植付後～萌芽前 (広葉雑草2～4葉期)				全域		